



## 個展に寄せて ー白い華ー

「過去は記憶できるが修正できない。未来は修正できるが記憶できない。」  
 今回の展覧会-思考の襲-の中の「白い華」のインスタレーションはギャラリーの壁に穴を開けて順次その穴に「白い華」をさし置くだけでなく、最初から作品全体の設計図があるわけではなく、任意に第一番目に置かれた「白い華」が次に置かれる「白い華」の位置を誘導し、最後の「白い華」が置かれるまでこの行為が繰り返される。前に戻ってその位置が修正されることはあえて避ける。

よってこの作品はインスタレーションというよりサイトスペシフィックな作品といえる。つまりその場所でしか現せない一回性の作品である。さらに出来上がった作品の展示というよりその過程自体が作品であるわけだからパフォーマンスでもある。ここで私が表現したい主題は、「時間形式」の具現化(マテリアリゼーション)への試みである。

一つの「白い華」が置かれる毎に新たな「今」が訪れ、知覚内容は変化する。それは目の前にある存在である。だが、こうして新たに訪れる「今」も次の「白い華」が置かれることによって絶えず押しのけられ、「たった今」となる、それはもう既に存在しなくなる。こうして、存在と非存在が常に反復されていく。

そのようにして流れている「今」というものは、止まっている「今」でしか捕まえず、その止まる「今」は流れている「今」の分断化されたものである。全てが同時に「今」ではありえないが、全てが一度は「今」であった。新たな「今」が次々に現れて、「今」が「たった今」へと変化し、この「流れ」がまさに「過去-現在-未来」の時間形式を形作る。だから時間形式は、川の流れるように、動きによって成立する形であり、静止状態ではない。

さらにここでの時間形式へのアプローチから副次的だがアートに関わるテーマが導かれる。それは制作者と作品とのハーモニーあるいはその相互性である。

最初に置かれる「白い華」の位置は制作者が決定するという主導権をもっているが、その最初の「白い華」があたかも白い紙に最初に落とされた一滴のインクのみのように、強烈な視覚情報が制作者を刺激するように、それに答えるように二個目の「白い華」の位置が決められる。こうして新たな「白い華」が置かれるに従い段々と壁は複雑な視覚情報を発して行く。

そしてそれにつれて壁という環境にも主導権が移って行き自立的性格を帯びて来ると、制作者と環境とのインタラクティブな共生調和が生まれるのである。  
 2013年5月、マドリッド 山口敏郎

## すどう美術館友の会 AQUA クラブ 会長の交代についてのお知らせ

長らく AQUA クラブの会長としてすどう美術館の活動を全面的に支援してくださっていただきました伊藤聖治さんが、このほど任期満了により退任されました。

本当にありがとうございました。今後も会員としてご協力をよろしくお願い致します。

後任には6月1日付で堀 典子さんが引き継いでくださいました。堀さんからは AQUA に就任のごあいさつをいただきました。どうぞよろしくお願い致します。

## 東日本げんきアートプロジェクト協賛のお願い

(活動ブログ <http://ameblo.jp/genki-art/>)

東日本げんきアートプロジェクトの活動にご協賛いただけます場合には下記の銀行口座にお持ちの金額をお振り込みいただければ幸いです。なお、その外の形でご協力をお願いできる方は、すどう美術館にお申し出いただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

振込先 みずほ銀行 小田原支店  
 口座番号 普通 2935448  
 口座名 東日本げんきアートプロジェクト  
 (代表 須藤一郎)

山口敏郎展-思考の襲-  
 8月20日(火)~9月1日(日)  
 11:00~19:00 (最終日~17:00)  
 月曜休館

## 展覧会 info

続々 世界一小さい美術館ものがたり

今年7月、多くの方のご協力を得て、昨年に続き岩手県の大槌町に行き、大震災で大きな被害を受けた方々に少しでも心を癒していただくための思いで、展覧会やワークショップを行うこととして、そのワークショップが、今年は何をやるか、作家の皆さんが中心となり、美術館の中で2回にわたり打合せと実習が行なわれた。油絵での作品作りや、ビーズによるアクセサリー作りを作るのは継続することとし、新しい出し物がとて興味深い。ペットのクリムパフェ、ペットのボトリウム、色とりどりの粘土を使って作られたク

## 楽しいワークショップ

ベラムパフェは本当に食べられそう。  
 二つ目はフェルトアート。小物作り。スポンジを台にし、そのうえにフェルトを置いて、錐のようなもので突き、かわいらしい動物や、素敵なペンダントを作る。魔法のよう。三つ目はオイルパステルによる誰もか絵描きさんになれる画面作り。1000円ショップで買った額付。それに、作家による似顔絵描き。そっくりな顔が描いてもらえると思う。そして何よりも実習している作家たちの夢中になっている姿がたまらなく面白かった。現地での本番では参加の皆さんに受けること請け合い。その時が楽しみである。  
 須藤一郎

## 編集後記

先日、世界の国別の幸福度というものの順位が発表された。どういった基準かは問題であるが、1位オーストラリア、2位カナダ、3位スイスと続き日本は21位であった。ずいぶん低いのだと思う人は多いかも知れない。でも私はうなづける。世界の中でもかなり恵まれた国なのに経済が豊かと言ったことと幸せと言ったのは違う。本当の幸せを知らない国民なのではないか。

文化、芸術などもっと楽しむ余裕があったらいいのにと

須藤紀子

山口敏郎展-思考の襲- 2013年8月20日(火)~9月1日(日) 11:00~19:00 (最終日~17:00) 月曜休館